



憲法をまもる
人をつなぐ
政治をかえる
JCPふなばし

日本共産党
市議会議員
金沢和子



市民のくらしと
平和を守れる
千葉県へ

4月に行われる統一地方選挙は、私たちの暮らしを左右する県政や市政そのものが問われる大事な選挙です。

いまの森田県政は、県議会の自民党と一緒に、ムダな巨大開発優先、福祉切り捨ての行財政運営だけでなく、安倍政権と同じ戦争推進の姿勢を、加速させています。

こうした県政を変えて、くらしと平和を守れる県政を実現するために、全力を尽くす決意です。

日本共産党
千葉県議会議員 丸山慎一

ご挨拶

市議会議員の金沢和子です。

97年の補欠選挙で当選後、6期22年間、地域の皆さんと、活動してまいりました。

現在の船橋市は、中核市54市中7番目に財政力が豊かな自治体です。

船橋市の豊かな財政力を、市民の暮らし・福祉・医療や教育のために使えるよう、7期目を目指して、力を尽くします。

金沢和子

憲法を守る

- 安倍政権の下での改憲には反対です。日本の平和は、現行憲法の前文と9条に基づき、外交・経済を通じて実現すべきです。
- 家計の事情や障がいのあるなしで、教育格差が生まれています。憲法に明記されたどの子も大切に教育の実現こそが急がれます。給食費の無料化や、返済無し奨学金、すべての小中学校に発達障がい児のための通級指導教室を設置するよう求めます。
- 年金や所得が下がり家計消費が回復していない中、10月に予定されている消費税10パーセントへの増税は、延期ではなく中止すべきです。増税ではなく、憲法に保障された「健康で文化的な」生活を保障することこそ、必要です。



通級指導教室を利用している保護者と、葛南教育事務所へ申し入れ
(写真、左は丸山慎一県議会議員)

人をつなぐ

- 市民と野党との共闘をすすめる市民連合が結成されています。市民連合への積極的な参加と野党共闘の実現に力を尽くします。
- 日本共産党の公約でもある、脱原発や安保法制、秘密保護法撤回などを求める、市内団体の活動に参加しています。



市民連合の1つ、「選挙で変えよう!4区船橋市民の会」に参加しています。

政治を変える

国政政党として、市民の願いを県政・国政へも届けます。市内の実態を伝えることで、国庫補助金の増額や県制度の運用改善を実現してきました。

安倍政権との対決を、地方政治でも貫きます。同時に、政策で一致できる政党・団体・市民との共同には積極的に参加します。

陸上自衛隊第一空挺団の降下訓練始めに、米軍が参加することに抗議する宣伝に参加。市民ネットワーク、緑の党などの皆さんと。



プロフィール

- ◆1969年千葉県生まれ◆駒澤大学仏教学部仏教学科卒
- ◆1997年に船橋市議会議員補欠選挙で初当選、現在6期目◆市議会総務委員会委員、社会福祉審議会委員◆平和・民主・革新をめざす船橋の会、千葉県宗教者平和協議会、千葉県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会、日中友好協会などで活動◆市内夏見在住

生活相談を担当する地域

夏見、夏見台、夏見町、米ヶ崎町、金杉、金杉台、金杉町、緑台、高根町、南三咲1～3丁目(いづみハイツ除く)、三咲1丁目、二和東1～2丁目、行田、行田町、前貝塚町

皆さんと一緒に取り組みました

- 4年間で、約480件のご相談に対応しました
- 学校トイレの洋式化・校舎の老朽化対策の改善
- 「家庭児童相談室」や「こども発達支援センター」の職員体制を拡充
- 市場小学校にバスで通う子どもたちのバス停付近の万年塀を改修
- 八栄小や高根小などの通学路の安全対策
- 子どもの貧困対策を実施するための実態調査の実施
- 生活保護行政の改善を提案
(ケースワーカーの配置、転居指導など)
- 市内農地の保全対策や農業政策の改善
- 高齢者の住環境について行政支援の拡充
- マンションの耐震補強工事への補助事業



2019年2月号外 日本共産党船橋市委員会発行
船橋市二和東6-41-20 TEL047(440)5240
日本共産党船橋市委員会の見解を紹介します。